

## 2学年 必修 家庭基礎 課題4「経済の中身を知る・家事実践報告」

海国2年生皆さん、こんにちは♪

家庭科の宮内淑子です。

東京都もいよいよ緊急事態が解除されましたね。(5/27現在)

前回の課題「新しい生活様式」(←チェック&コメントして提出)という社会的規範をもって、“**コロナ共生**”生活に臨んでいく状態になってしまいました。

おそらく、日常生活や社会全体がこんなに劇的に変わるのは、戦中戦後以来だと思います。

子どもも大人も高齢者も、そして皆さんのような多感な高校生も、それぞれの新しい生活への転換期を、自身の大切にする生活の軸をもって暮らしていけるよう、お互いに歩みましょう♪

さて、「生きている科目」家庭科では、家庭基礎の前期学習として<自己紹介&ふりかえり>、<衣食住興味ある調べ学習>、<家庭経済や消費生活>(教科書巻末第8章P170～)等を予定し、そこに大きく“**新型コロナ感染防止**”という生活が乗ったことを意識して、課題を進めてきました。なので、これらの課題提出後も、今【学校でなく自宅】だからできる家庭科の実践を存分に味わってください。色々自分の世界を、内に、外にアンテナひろげてね!

あと、今回の課題以降<被服製作実習>も進めたいところです。皆さんが、無事帰舎できるか? オンラインでどこまで教材をどうするか!? まだ思索思案進展中です。次回告知しますね!

\*6/15(2週間)までの課題です。

- 「家庭の経済活動や国民経済」の範囲を中心に挙げています。教科書の該当ページをよく読み、穴埋め、記述して完成させてください。次回の締め切り(6/15消印有効)に、プリントの部分(A4, 2枚)で郵送してください。なお、このプリントは、提出しますので、答えや記述したところ等は、教科書に記したり別紙にメモしたり、もしくは、解答したプリントをコピーして保管しておく等、手元においておくようにして下さい。(←復習およびテスト勉強用)

•4月当初の課題で進めてもらった「お家で家事実践!」を報告してもらいます。家庭の中でしか、なかなかできないことなので、すこし期間を広げて進めてもらいました。簡単な報告用紙を(A4, 1枚)添付しましたので、活用下さい。(もちろん用紙項目を挙げて、持っているレポート用紙に工夫して書いて提出でもOK!) 家事実践報告は、最低2つ、(いえいえ♪それ以上活躍!報告してもOK! 加点しますよ、笑)記録報告して提出して下さい。

最後に、普段の授業では、(口ではナカナカ)教授できない(笑汗)、家事やお手伝いをするものの意義や素晴らしさが書いてある本を紹介し、抜粋した言葉や文章を掲載します!

実践の参考資料として、是非!一読してみてください。

それではまた!ごきげんよう♪

こんどこそ!?学校でお会いしたいですね。それまでお元気でお過ごし下さいませ。

## 『「免疫力が高い体」をつくる「自然療法」シンプル生活』

東城百合子著 三笠書房

“STAY HOME” 期間に家にある積読本を読破中に見つけた一冊です。

これからの暮らし方において「コロナ対策」には、ちょうどもってこいのタイトルと読み始めたのですが、皆さんの課題に、あまりにもマッチしすぎ（苦笑）て、大切なことが沢山書かれていました。この本の著者（栄養士で自然食の大家）は、ご自身の重病（肺結核）を自然療法で克服し、これをきっかけに健康運動を始めます。

出版活動として月刊誌「あなたと健康」（通称：あな健）は、講演活動や自然食料理教室を紹介。その理論と実績を求め、全国から勉強に訪れた人が多かったようです。そんな方の文庫収録を改筆・再編集された文庫本から抜粋文章をお届けします。

### 家事について

いまは、手足を使うことがほんとうに減りました。

ご飯は炊飯器が炊いてくれるし、水は蛇口をひねれば自動的に出てきます。

食器洗い機やトイレの自動洗浄機など、次々と便利なものが出てきていくだけでもラクや手抜きができる時代です。

でも、「ラクで便利でかんたん」に生きられる生活には落とし穴があります。

何でも機械まかせにすることに慣れつこになると、脳が活性化せず、何もできない感謝を忘れた人間になるのです。

安易に機械に頼らず、手足をテキパキ動かし、右脳左脳をフル回転させる生活にこそ、人間性を高める道筋があります。

このとき、ぜひ心がけて欲しいことがあります。

**喜んで手足を動かすことです。**

動かすこと自体も運動機能をつかさどる小脳の働きを高めますが、喜びがともなうことで、情報が脳にプラスのイメージで刷り込まれていくのです。

人のために楽しく働く気持ちや、冷蔵庫や洗濯機にも「ありがとう」という思いがあると、神経がラクになり脳細胞も開いて、生き生きしてきます。

脳全体の働きがより活性化し、直観力や洞察力が鋭くなり、何よりくたびれません。好きな曲のリズムにのって楽しく体を動かしていると、いつまでも踊れそうな気分になるように、家事もイヤイヤするのと喜んでするのは、疲れ方が全く違います。

実は、**家事ほど豊かな人間性を育む行為はないのです**

喜んで家事をしているだけで、どんどん自分の能力が花開いてくる・・・。家事が幸せを呼び込むのは、そういうわけなのです。

『家事には、「人間性を高める」すべての要素が詰まっている。』

いかがですか？図星な内容でんこ盛りでしたでしょう！“Withコロナ”生活での自身の「免疫力を高める」には、日々の家事にも重要な要素が、織り込まれているのですね。引き続き、「お手伝い」について、考えさせられる文章がありましたので紹介しますね。

### お手伝いについて

家庭で教わるべき生活の基本を、私は母のそばで、学びました。

朝はまず、火をおこして朝ご飯のしたくです。みそ汁の出汁のとり方、野菜の切り方、味のつけ方、火の強弱まで、料理の微妙な加減を、お手伝いを通して感覚で受け止めてきました。学校から帰ると、今度は庭掃除や家庭菜園の仕事が待っています。

草むしりをしたり、野菜の手入れをしたり・・・。

ことあるごとに、母が背中を見せて教えてくれました。

「何でもやらないとわからない。やってごらん。そして、どうすればうまくできるのか、

あとは自分で考えて工夫することが大事」とよく言われたものです。

そのおかげで、教わったことが身にしみ、勤がよくなり、応用力も育っていったように思います。

生きるということは、何でもやってみて、自分のこととして体で覚えていくことです。

早起きして家事や料理を手伝うことで、食べ物が食卓に出るまでには、長い道のりがあることもわかりました。

お日さまや恵みの雨といった自然の「おかげさま」と、農家さんの努力、料理する人の苦勞と愛情なしには、食べることができないことも・・・。

「お天道様が育ててくださったものを残すと申し訳ない」という母の言葉には、説得力があったのです。

「野菜は栄養があるから食べなさい」という頭（理屈だけ）の言葉でなく、母のように、家事を通して体の中から沸いてくる生きた言葉でないと、大切なことは伝わらないでしょう。お手伝いで心得た母の教えには、いのちを大切にし、人のために役立つ人間になるんだよという、厳しくも深い親の愛があったのです。

『お手伝いは、心にしみ込む「生き方の授業」です。』

ちょっと時代のずれを感じるかもしれませんが、生活は変化しても、人としての生きる根幹は、そおブレることはないと思います。何気ない生活の所作には、人間も自然の一部として、さまざまな生命と繋がっていることを是非、今、お家でできる家事やお手伝いを通して、感じてみてください。

この体験は、皆さんにとって必ずや、自立した人に巣立っていける力を養ってくれると・・・！学校の授業が再開されたら、気づきやお互いの成長ぶりを是非シェアしましょう☆

32 経済生活の中身を知る, 家庭生活と社会とのかかわりを知る

1家庭の収入と支出とは 次の文の ( ) にあてはまる語句を記入しよう。

家庭の収入には, 実質的に資産が増える<sup>①</sup> ( ), 実質的に資産が増えない形式上の収入である<sup>②</sup> ( ), 繰入金がある。( ① ) は, 賃金や事業収入, 年金, 預貯金の利子などの定期的にはいる<sup>③</sup> ( ) と, 祝金や賞金などの一時的にはいる<sup>④</sup> ( ) に分けられる。( ② ) とは, 預貯金引出や借入金など, 資産を現金化したものや返済義務のある借金などである。

家庭の支出には, 実質的に資産が減る<sup>⑤</sup> ( ), 実質的には資産が減らない形式上の支出である<sup>⑥</sup> ( ), 繰越金がある。( ⑤ ) は, 生活費となる<sup>⑦</sup> ( ) と, 税金や社会保険料などの<sup>⑧</sup> ( ) に分けられる。( ⑥ ) は, 預貯金や保険料支払, 借入金返済など, 実質的には家庭の資産の減少にはならない形のうえだけの支出である。

( ① ) から ( ⑧ ) を引いた残金を, <sup>⑨</sup> ( ) という。これが, 家庭にとって自由に使える収入である。( ⑨ ) と ( ⑦ ) の差( ( ① ) と ( ⑤ ) の差) がプラスであれば<sup>⑩</sup> ( ), マイナスであれば<sup>⑪</sup> ( ) という。

ワーク 教科書 p.171 の図3の給与明細票を見ながら, 次の問いに答えてみよう。

(1) 図3の給与を得ている第一太郎さんの可処分所得はいくらになるか計算してみよう。なお, 実収入は給与のみ, 非消費支出は給与から天引きされている社会保険料と税金のみである。

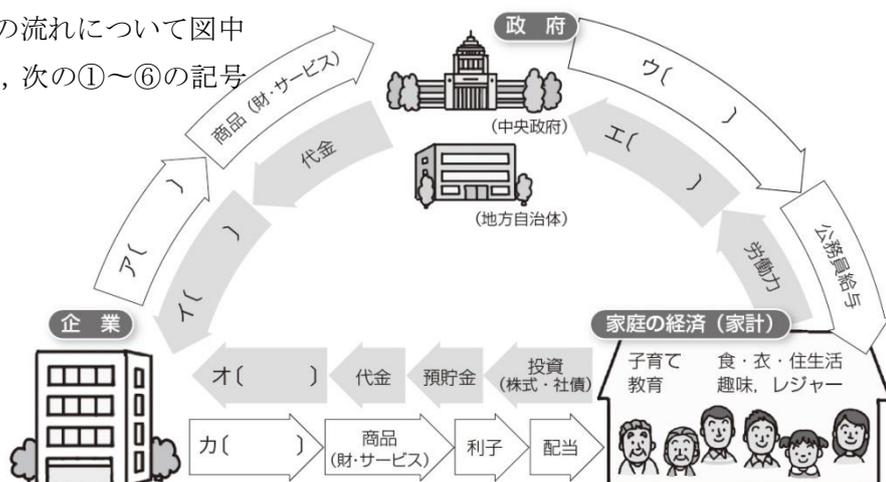
$$\begin{array}{rcccc} \text{実収入} & - & \text{非消費支出} & = & \text{可処分所得} \\ \text{①( )円} & & \text{②( )円} & & \text{③( )円} \end{array}$$

(2) 第一太郎さんの家計簿によると, 1か月の消費支出は教科書 p.81の通りであった。⑥に黒字か赤字かを, ⑦にはその金額を記入してみよう。

$$\begin{array}{rcccc} \text{可処分所得} & - & \text{消費支出} & = & \text{⑥( )} \\ \text{④( )円} & & \text{⑤( )円} & & \text{⑦( )円} \end{array}$$

2家庭の経済活動 経済社会の流れについて図中の [ ] にあてはまる内容を, 次の①~⑥の記号で答えよう。

- ①税金
- ②公共サービス・社会保障
- ③賃金
- ④公共サービス・補助金
- ⑤税金・社会保険料
- ⑥労働力



	組	番	名前	
--	---	---	----	--

**ワーク** 企業や政府はそれぞれ、家計との間で、どのような財・サービス、金銭のやりとりをおこなっているのだろうか。

●企業と家計

●政府と家計

**3**家計に影響を与えるもの 次の文について、正しいものには○、誤りには×を記入しよう。

- ①さまざまな商品の価格を総合的にあらわしたものが物価である。 ( )
- ②税金には、税金を負担する人が直接納める直接税と、負担する人から税金を預かって商品の生産者や販売店が納める地方税に分けられる。 ( )
- ③国会や政府・地方自治体が、公共のために決定や認可をする料金を公共料金という。 ( )

**4**経済社会の変化と私たちの生活 円高・円安について、( )にあてはまる語句を○で囲もう。

円安が進むと、輸入製品が<sup>①</sup>( 安く・高く )なったり、海外旅行費用が<sup>②</sup>( 安く・高く )なったりする一方で、日本製品の輸出が<sup>③</sup>( 増え・減 )る。

**ワーク** 1ドル=120円と1ドル=100円では、どちらが日本で輸入品を安く買えるのだろうか、考えてみよう。

.....

.....

.....

Memo

～やってみて気づいたこと・感想・コメントなど。一言どうぞ♪～

組	番	名前	
---	---	----	--

--

“お家で家事実践！”活動記録用紙

実施日	年 月 日 : ~ :
実施場所	
内容	
感想	
評価	<家の人感想>

実施日	年 月 日 : ~ :
実施場所	
内容	
感想	
評価	<家の人感想>

